



花火による火災を防ぎましょう！

夏の風物詩のひとつとして、花火が親しまれています。花火は、大きく分けて2種類あり、専門の職人が打ち上げる「専門花火」と気軽に楽しめる「おもちゃ花火」があります。炎の色や吹き出し方など変化に富み、その取扱いも年々多くなっております。しかし、気軽に楽しめる「おもちゃ花火」でも原料は火薬であり危険が伴います。毎年、全国各地では誤った取扱い方法によって火災が発生しています。

花火による火災をなくすために、種類や火薬量に応じて作られた「使用上の注意」をよく読んで正しく取り扱しましょう。また、下記のポイントを読み花火火災を防ぎましょう。

《花火による火災を防ぐ10のポイント》

- ① 花火に書いてある注意事項をよく読んで必ず守りましょう。
- ② 風の強いときは、花火で遊ばないようにしましょう。
- ③ 必ず水の入ったバケツを用意しましょう。
- ④ 花火を人や家に向けたり、燃えやすい物のある場所で使用しないようにしましょう。
- ⑤ 遊び終わった花火は、必ずバケツの水につけて、残り火を完全に消しましょう。
- ⑥ 子供達だけでなく、大人と一緒に遊びましょう。
- ⑦ 一度にたくさんの花火に火をつけないようにしましょう。
- ⑧ 正しい位置に、正しい方法で点火しましょう。
- ⑨ 吹出し、打上げ等の筒もの花火は、途中で火が消えても筒をのぞかないようにしましょう。
- ⑩ 花火をほぐして遊ぶことは、絶対にしないようにしましょう。



ハチ刺されにご用心

6月～10月にかけてハチの活動が盛んになってきます。村内でも近年ハチ刺されによる救急事故が発生しています。ハチに刺されて重症化すると呼吸困難や最悪なケースでは命を失うこともあります。これから屋外での作業やレジャーなど外に出て活動する機会が多くなり、ハチによる被害が多くなりますので、ハチから自分の身を守るために、次のことに気を付けましょう。

《ハチに刺されないために》

- ・ 黒い色や暗い色の服装は避けましょう。
- ・ 巣には、絶対に近づかないようにしましょう。
- ・ 整髪料や香水などの強い匂いのものは避けましょう。
- ・ 長袖、長ズボンを着用して肌の露出を防ぎましょう。
- ・ 草刈などをする時は、事前にハチの巣がないか確認しましょう。
(巣の駆除が必要な場合は役場住民生活課に駆除の依頼をしてください。)



《今までにハチに刺されたことがある方へ》

- ・ ハチに刺されたら医療機関を受診しましょう。
- ・ 息苦しさなどの症状が出た場合は、**アナフィラキシーショック**という危険な状態になることがありますので**すぐに119番通報し、救急車を呼びましょう。**

※アナフィラキシーショックとは、急性のアレルギー反応のひとつで、喉のかゆみや蕁麻疹(じんましん)、全身の皮膚が赤くなるなどの症状がでることがあります。重症の例では呼吸困難や血圧低下による意識障害など、最悪の場合死に至ります。

※アナフィラキシーの対処法としてエピペンという自己注射薬があります。医師の診断があれば事前に処方されることがありますので医師に相談してみましょう。

鶴居村防火標語募集終了！

鶴居村防火標語の募集に対しまして、ご協力頂きありがとうございました。村民の皆様からご応募頂いた標語の中から、最優秀作品を1句、優秀作品を1句、佳作作品を3句選出いたします。標語の選出が終わりましたら表彰式を行い、表彰状と副賞を贈呈する予定です。また、最優秀作品は消防署向かいの鶴居小学校敷地内と幌呂小学校グラウンド側フェンス、下幌呂消防部詰所へ掲示します。

～熱中症は予防が大切です～

暑さが本格的になってきますので熱中症には**注意**してください！